

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	長野県			代表者名	阿部 守一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	026-235-7146
担当者役職	担当係長	担当者氏名	相田 貞晃	連絡先E-mail	
住所	380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	令和6年度DX人材育成勉強会
概要	県及び県内市町村におけるマイナンバーカードの活用やDX人材の育成を推進するため、県及び県内市町村のDX担当者を対象にした勉強会を開催する。この勉強会の講師として登壇いただき、知見を共有いただきたい。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) マイナンバー		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月19日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	12時00分	
				活動時間(分)	120
2-2.	会場名	長野県庁	最寄駅	長野駅	
派遣場所	所在地	長野市大字南長野字幅下692-2	最寄駅からの交通手段	路線バス	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>・組織体制づくり、人材育成への向き合い方、チームマネジメント、マインドセットについて、要素をわかりやすく分解して説明いただき、参加者にとって理解しやすく、議論に参加しやすい空気にしていただいた。</li><li>・デジタルツールを活用しながらデータの紹介やワークショップを実施いただいたことで、参加した職員も明日から真似したくなる数々の要素を示していただいた。</li><li>・ワークショップでは実際のグループに参加いただき、参加者と直接対話いただいた。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	22人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
人数	22	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体内での理解が進まず、DXの機運醸成や巻き込むための土台作りが進んでいない。</li><li>・県内市町村の担当者同士での交流が限定的で、ノウハウが共有されない。</li></ul>
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・DXの機運醸成や巻き込むための土台づくりのヒントを得ること。</li><li>・県内市町村の担当者同士での交流が増えることで、担当ひとり一人がDXの必要性を理解し実践できるようになること。</li><li>・県職員同士で、また県職員と市町村職員が共に学び、対話を行うことで、現状認識とありたい姿の共有を行う。</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	県庁職員13名、市町村職員9名を対象に、DX人材（DX推進リーダー）の育成、チームビルディング、これらを総合した「DXのポイント」について講演いただいた。下呂市の事例（マイナンバーカードを活用したデジタル郵便、NoteBookLMの活用）を紹介いただき、マスコットキャラクターを用いた庁内広報の取組も紹介いただいた。セミナーの途中ではワークショップが行われ、参加者は5つのグループに分かれて「3年後の理想の自治体像」について討論した。参加者からは、「形式だけの業務の見直し」や「残業ゼロの実現」等といった意見が出された。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXを進める上での組織・職員へのアプローチに悩む参加者にとって、新たなアプローチへの気づきを得ることや、これまで取り組んでいた方向性が正しいものだったことを確信する機会になった。 また、ワークショップを通じて各参加者に理想の自治体像を考え、言語化してもらうことで、ありがたい姿からバックキャストするアプローチを意識していただくことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	下呂市の事例を基に、DX推進に重要な組織づくり・人材育成に関するポイントや、デジタルツールを用いた業務の事例を学ぶことができた。また、普段交流の無い他団体職員と意見交換を行い、明日から実践したいアクションを参加者各々で認識することができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者のおよそ9割が「満足」と回答し、その理由には「日頃感じているモヤモヤを言語化していただけた」、「行政サイドの方から見たDXの話を知ることができた」、「近隣市町村との繋がりを改めて得ることができた」点を評価する声があった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	アンケートでは今後に向けた要望として、同じDX人材育成に関するグループワークの機会を要望する声や、理事者・管理者向けの研修の声が挙がった。今回参加した市町村の数も限られているため、次年度には開催地域・時期・テーマを見直し新たに勉強会の開催を検討する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	有識者や県内市町村のDX推進担当者との交流を通じてDXの実践事例を学ぶことで、県内市町村のフロントヤード業務とバックヤード業務の両面が見直しされ、住民サービスの簡便化が進むこと。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

